



# 笛吹市 議会だより

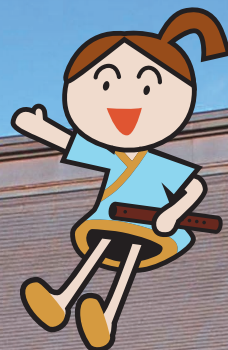
平成22年1月21日発行

## 2010 Vol.21

GIKAI DAYORI

### 石和八幡宮

鎌倉時代に武田家の祖先・信光（石和五郎）によって創設され、1774年新たに建立された社殿は平成18年に不審火で焼失。境内に仮宮を設置してご神体を奉り、社殿の再建を進め昨年12月に新社殿が完成しました。歴史上貴重とされる絵馬は市指定文化財で、現在スコレーセンターに保管されています。



FUEFUKI CITY





笛吹市

# 議会だより 2010 Vol.21

表紙	1	
あんない・議会日誌・会期日程	2	
荻野市長・行政報告	3	
12月定例議会で決まったこと	4～5	
一般質問(13議員)	6～15	
中川 秀哉議員	渡辺 正秀議員	渡辺 清美議員
堀内 文蔵議員	大久保俊雄議員	川村 恵子議員
亀山 和子議員	中村 正彦議員	風間 好美議員
北嶋 恒男議員	新田 治江議員	寶 修 議員
志村 直毅議員		
委員会レポート	16～17	
市民リレートーク／編集コラム・笛吹川	18	

あんない

## CONTENTS



FUEFUKI CITY

### 議会日誌 GIKAI diary

#### 9月 September

- 1日 砂原橋整備促進期成同盟会総会・教育厚生常任委員会
- 2日 山梨リニア実験線金川橋りょう工事安全祈願祭
- 3日 全員協議会・本会議・総務常任委員会
- 7日 リニア中央新幹線に関する説明会
- 8日 本会議(代表質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日・11日 各常任委員会
- 12日 「甲斐国千年の都笛吹市」刊行記念講演会
- 14日・16日 各常任委員会(決算認定)
- 17日 水道事業施設視察研修
- 25日 議会運営委員会・全員協議会・本会議
- 28日 市長要望訪問

#### 10月 October

- 5日 議会広報編集委員会
- 6日 大阪府八尾市議会視察研修・宮本和郎日本画展開会式  
東山梨行政事務組合議会視察研修(～7日)
- 8日 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 9日 笛吹市戦没者慰霊祭
- 10日 教育改革リレーフォーラムin笛吹
- 12日 笛吹市市制施行5周年記念式典
- 15日 山梨県市議会議長会定期総会
- 19日 建設経済常任委員会視察
- 20日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会
- 21日 福岡県八女市議会視察研修  
山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 22日 釈迦堂遺跡博物館組合議会・長野県山ノ内町議会視察研修
- 23日 東山梨環境衛生組合議会
- 26日 東山梨行政事務組合議会

- 27日 西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会  
議会運営委員会・教育厚生常任委員会
- 29日 東八代広域行政事務組合議会

#### 11月 November

- 5日 全員協議会
- 6日 茨城県稲敷市議会視察研修
- 10日 第2回笛吹市社会福祉大会
- 11日 青木が原ごみ処理組合議会
- 13日 埼玉県小川町議会視察研修
- 14日 第5回笛吹市文化祭開祭式
- 22日 笛吹市小中学生俳句会表彰式
- 24日 建設経済常任委員会
- 25日 総務常任委員会・教育厚生常任委員会
- 27日 議会運営委員会・全員協議会・第5回臨時議会  
総務常任委員会・教育厚生常任委員会
- 30日 境川浄水場工事安全祈願祭

#### 12月議会・会期日程

- |                      |   |  |                 |
|----------------------|---|--|-----------------|
| 12月4日(金) 全員協議会<br>開会 | 12月8日(火)<br>・本会議 一般質問<br>・各常任委員会<br>・付託案件・事件審査<br>・各委員会の審査報告<br>・質疑・討論・採決<br>閉会 | 12月10日(木)～11日(金)<br>・本会議<br>・各常任委員会<br>・付託案件・事件審査<br>・各委員会の審査報告<br>・質疑・討論・採決<br>閉会 | 12月16日(水) 全員協議会 |
|----------------------|---|--|-----------------|



## 「選択と集中」の経営理念で 費用対効果の精度を一層高める

金融危機の影響で景気低迷の局面が続き、高い失業率など厳しい状況ですが、緊急経済対策の効果などにより、緩やかながら景気回復の兆しが見えています。  
地域住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う「地域主権」の確立に向け、積極的に取り組む決意です。

### 第一次笛吹市総合計画の主要事業の進展

#### 1 市制施行 5周年記念式典

特別功績者表彰や、12人の「笛吹市ふるさと大使」の委嘱などと合わせ、「甲斐国千年の都・笛吹市」宣言を行いました。市の豊かな歴史と優れた文化財を加えた、笛吹ブランドとしてPRしていきます。

#### 2 観光振興

市の魅力を旅行エージェントに伝える目的で、名古屋地域でトップセールスをしました。今後も継続的に魅力を発信し、誘客の促進を図っていきます。

#### 3 就職ガイダンス

求職者の就業促進と、求人企業の人材確保支援のため、

市初の就職ガイダンスを開催しました。

#### 4 境川浄水場 配水場建設事業

1日当たり3、060トンを浄水し、境川町全域と八代町の一部に安定供給するもので、23年1月末の完成を目指しています。

#### 5 上下水道料金の 統一改定

市民のご理解をいただき水道料は21年11月から統一改定、下水道の使用料金の統一も、22年6月請求分から統一する計画です。

#### 6 保育所対策

慢性的な飽和状態にある「石和第4保育所」の保育状況緩和のため、民間保育事業

者が石和町小石和地内へ新設移転を予定。市としても助成を行う考えです。

#### 7 障害者福祉

サービス利用者と事業者に支援措置が講じられ、必要で適切な福祉サービスを展開しています。

#### 8 国民健康保険

医療費が増加しており、緊急事態と言わざるを得ない状況です。今後、医療費適正化への対応、保険税収納対策の強化により国保財政の再建に取り組みます。

#### 9 学校教育ビジョンの 具現化

「あいさつ 聞き方 言葉遣い」運動を展開していきます。学校だけでなく地域の皆様の協力をいただき市内全域に運動を広げていきます。

#### 10 小学生・中学生俳句会

全国340校から2万2千句余、市内からも3、623句の投句があり、風土が生んだ伝統文化の俳句をさらに充実するよう努めて

いきます。

#### 11 協働のまちづくり の推進

「地域振興基金運用益」を活用した助成金を交付しています。「よっちゃばるネット笛吹」は32団体が登録、多くの活用を目指し内容を充実します。

#### 12 市民ミーティング

市内6地域で、市の財政状況、大型施設整備構想、都市計画税をテーマに開催しました。いただいたご意見ご提案は今後の施策展開の参考といたします。

#### 13 指定管理者制度の導入

公募13施設に応募があり、若彦路ふれあいスポーツ館などについて7団体を候補者として内定、市民サービスの向上を図ります。

12月定例議会における荻野市長の行政報告を要約したものです。

# 平成21年12月定例議会提出案件一覧表

(上野稔議長を除く)  
賛成 反対

種別	案 件 名	笛政クラブ				正鶴会				公明党		正正会		日本共産党	新和会	無会派			結 果					
		龍澤敦	前島敏彦	大久保俊雄	網倉正治	志村直毅	降矢好文	小林隆一	松澤恒男	北嶋正彦	中村恵子	川村清美	渡辺秀美	中川好美	風間善次	新田治江	渡辺正秀	亀山和子		堀内文蔵	内藤武寛	寶修	野沢勝利	野澤今朝幸
条例制定・改正	・ 芦川農産物直売所条例の制定 ・ 市立保育所条例の一部改正 ・ ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正 ・ 乳幼児医療費助成金支給条例の一部改正 ・ 重度心身障害者医療費助成条例の一部改正 ・ 都市公園条例の一部改正 ・ 後期高齢者医療に関する条例の一部改正																							可決
補正予算	・ 一般会計補正予算（第5号） ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ・ 介護保険特別会計補正予算（第3号） ・ 介護サービス特別会計補正予算（第3号）																							可決
	・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																							可決
	・ 公共下水道特別会計補正予算（第3号） ・ 簡易水道特別会計補正予算（第3号） ・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算（第2号） ・ 水道事業会計補正予算（第3号）																							可決
その他	・ 普通財産の譲与 ・ 動産の取得 ・ 動産の取得																							可決
	・ 市道認定																							認定
人事	・ 人権擁護委員の候補者の推薦																							承認
	・ 教育委員会委員の任命																							同意
指定管理	・ 指定管理者の指定（はなぶさふれあい児童館） ・ 指定管理者の指定（御坂児童センター） ・ 指定管理者の指定（かすがい東保育所）																							可決
	・ 指定管理者の指定（芦川農産物直売所） ・ 指定管理者の指定（八代ふれあい健康広場） ・ 指定管理者の指定（八代増田ふれあい広場）																							可決
	・ 指定管理者の指定（若彦路ふれあいスポーツ館他） ・ 指定管理者の指定（石和中央テニスコート他） ・ 指定管理者の指定（いちのみや桃の里スポーツ公園）																							可決
規約変更	・ 市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更 ・ 後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び同広域連合規約の変更																							可決
選挙	・ 新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙																							選挙

## 人事

教育委員会委員に  
茂手木 卓也氏

茂手木 卓也

春日居町桑戸 532番地

昭和18年1月4日生

賛成全員で同意

人権擁護委員候補者に  
4氏の推薦を承認

田草川 睦美

春日居町桑戸 518番地

昭和21年1月16日生

堀内 圓

一宮町市之蔵 68番地

昭和16年1月30日生

酒井 明子

一宮町竹原田 484番地

昭和26年12月5日生

山田 順子

一宮町中尾 1346番地

昭和20年5月2日生

賛成全員で承認

## 選挙

新倉外三字施業区恩賜  
県有財産保護組合議会  
議員に4氏が当選

宮川 榮

芦川町鶯宿 458番地

昭和7年12月15日生

梶原 吉男

芦川町鶯宿 323番地

昭和4年5月4日生

宮川 正夫

芦川町鶯宿 418番地

昭和22年4月1日生

宮川 良平

芦川町鶯宿 659番地

昭和26年3月17日生

指名推選で選挙

## 平成21年第5回臨時議会提出案件一覧表

(上野稔議長を除く)  
賛成 反対 - 欠席

種別	案 件 名	笛政クラブ					正鶴会				公明党		正正会		日本共産党	新和会	無会派			結 果			
		龍澤敦	前島敏彦	大久保俊雄	網倉正治	志村直毅	降矢好文	小林隆一	松澤恒男	北嶋正彦	中村恵子	川村清美	渡辺秀哉	中川好美	中村善次	新田治江	渡辺正秀	亀山和子	堀内文蔵		内藤武寛	寶修	野沢勝利
条例改正	・ 市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正 ・ 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正 ・ 職員給与条例等の一部改正													-									可決
補正予算	・ 一般会計補正予算（第4号）													-									可決
その他	・ 動産の取得 ・ 動産の取得													-									可決
議員発議	・ 議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正													-									可決

## 第5回臨時議会

平成21年11月27日

市長など特別職・一般  
職員の期末手当を減額

・市長および副市長の給与  
と条例の一部改正

・教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正

・職員の給与と条例の一部改正

国の指定職の職員の期末・  
勤勉手当の改定に準じ、  
市長・副市長・教育長の  
特別職および職員の12月  
期末手当を減額する条例  
改正です。

議員提案で期末手当を  
減額

・市議会議員の報酬および費用弁償条例の一部改正

市特別職および職員に  
対する措置に鑑み、議員  
についても同様の措置を  
講ずる必要があるため条例を一部改正するものです。



12月  
定例議会

市民の声

## 一般質問

12月定例議会では、13人の議員が一般質問に立ち、24項目について市の考えをたきました。

以下は質問と答弁を要約したものです。

中川秀哉議員	.....6
渡辺正秀議員	.....6
渡辺清美議員	.....7
堀内文蔵議員	.....7
大久保俊雄議員	.....8
川村恵子議員	.....9
亀山和子議員	.....9
中村正彦議員	.....10
風間好美議員	.....11
北嶋恒男議員	.....12
新田治江議員	.....13
寶修議員	.....14
志村直毅議員	.....14

問

小水力発電で再生可能エネルギーの早期開発を

答

適地、経済性を考慮し検討を進める



中川秀哉議員  
(公明党)

中川秀哉議員 21年11月には太陽光発電を従来の2倍で買い取る制度がスタートし、環境省も小水力発電の普及に向けた取り組みを始めた。農業用水や山間地の傾斜地を利用した、小水力発電の開発計画はあるのか。

はじめ、検討中の浄水施設にバイパス管型の小水力発電設備を設置し活用しては。加藤寿一市民環境部長 以前より「水車を利用した発電」の声があり、検討を重ねてきたが、経費、水利権等の課題があり、具体化はしなかった。

県の小水力発電の事業化に向けた導入支援調査に、近津用水と上芦川の両用水を申請した。調査結果を踏まえ、観光資源などへの影響等も配慮して検討する。

問

中小企業退職金共済掛金助成制度の早期導入を

答

市としての助成調査、研究する

費用対効果の面からまだまだ研究が必要であり、今後、設置の可能性について調査を進める。

中川議員 単独で退職金制度を持つのが難しい中小企業のため、中小企業退職金共済制度がある。景気底打ちの気配が見られない昨今中小零細企業は厳しい経営環境にある。共済制度の新規加入に対する助成が必要だ。

保坂利定産業観光部長 厳しい経済状況の中、「笛吹市

問

大型施設建設で財政は大丈夫か

答

歳出抑制により財政の健全化を維持



渡辺正秀議員  
(日本共産党)

渡辺正秀議員 国の補助金頼みの結果、下水道事業は240億円の借金がある。大型施設建設で同じ轍を踏んでほらない。平成32年の歳入・歳出バランスの見通しは。大型施設建設後の財政状況は。大型施設建設へ3つの提案を行う。1、住民生活と市の将来に

緊急雇用経済対策会議」を設置し、企業との連携強化を図った。また、初の就職ガイダンスの主催、中小企業への利子補給制度の創設等の対策を実施している。中小企業退職金共済制度には、21年6月8日現在、市内で

104事業所、853人が加入している。事業所加入率は、笛吹市11・59%、全国6・28%。県内では甲府市のみが自治体として掛金補助を実施している。企業支援の観点から、市としての助成を調査、研究する。

必須な事業を優先させよ。  
2、将来の財政負担を軽減する事業の推進を。  
3、「夢のある事業」の精査を。

池田聖仁経営政策部長

歳入面では地方交付税の27億円ほどの減額は避けられないが、行財政改革などによる市税・国庫支出金の増加も期待できる。歳出面では起債等の償還が増加するが、基金の効果的運用や普通建設事業の縮小など、歳出抑制により予算規模は縮小するものの財政健全化

は可能と推計。

1 児童館・保育所整備  
道路の新設・改良等を優先  
してきた。今後も必要性に  
応じ努力する。

2 保育所、給食調理  
場に合併特例債を充当。料  
金収入を得られる住宅等の  
整備は、事業を精査のうえ  
検討する。

3 総合計画、マスター  
プランに基づき、事業評価  
の精度を高める中で取り組む。

**問** 「先に場所ありき」は  
間違いでは

渡辺議員 バイオマスセ  
ンターの候補地、八千蔵・  
高家地区は白紙撤回されたが  
概算事業費の31億円は巨額  
すぎる。

汚泥、生ごみ等の肥料化  
とエネルギー転換の両方を  
実現してこそそのエコ事業で  
はないのか。

建設適地は下水終末処理  
場では。

八千蔵・高家地区は公営  
住宅・福祉施設建設など、  
他の事業に活用すべきでは

**答** 構想の中期の計画  
に即して提示

池田経営政策部長 笛吹

市バイオマスタウン構想に  
基づくセンター建設構想で  
あり、場所ありきではない  
建設地により事業費は大き  
く変動する。候補地のひと  
つとして想定し概算事業費  
を算出、造成費を最大限に  
見込んだ。財政計画上、過  
小評価はできない。先進事  
例では、バイオマスセンター  
のみでは場所により10億円  
未満での建設も可能と見込  
んでいる。

現在、生ごみの堆肥化、  
果樹剪定枝などのチップ化  
廃食油のBDF燃料化を行っ  
ている。今後も総合的見地  
に立ち、バイオマスの利活  
用を図る。

原材料として下水道汚泥  
の割合は大きい。生ごみ  
搬入に伴う車両の増加も課題  
必ずしも下水終末処理場が  
最適地とは言えない。

甲府、甲州、山梨、笛吹  
の4市で共通利用できる施  
設の整備を確認し、広域的  
な利活用を目指す。

**問** 避難支援プラン策定は

**答** プランに示す事業を  
積極的に展開



渡辺清美議員  
(公明党)

渡辺清美議員 消防庁は全  
市町村に対して、2010  
年までに、災害時要援護者  
の避難支援対策プラン策定  
を求めている。本市の取り  
組み状況と今後の方針につ  
いて伺う。

梶原清総務部長 20年4月  
から災害時要援護者の登録  
に着手。現在522名が登録  
9月5日の行政区防災訓練で、  
要援護者の避難誘導や安否  
確認を行った。市内の23カ  
所の福祉施設と緊急受け入  
れ協定を締結。今後も実践  
マニュアルに基づいた実践  
的な支援体制を整備していく。

**問** 狂犬病対策を問う

渡辺議員 狂犬病の死亡率

はほぼ100%。2007  
年度の登録率は約54%、狂  
犬病予防ワクチン接種率は  
約41%に過ぎない。世界経  
済の一体化、国際交流の拡大  
する現在、感染動物の侵入  
大流行が懸念される。中国  
ではペットブームを背景に、  
毎年3千人の死者が報告さ  
れている。犬の登録、予防

**問** リニア建設工事  
周辺環境影響への対策は

**答** 協定に基づき適切に対応する



堀内文蔵議員  
(新和会)

堀内文蔵議員 平成2年に  
リニア実験線の建設が開始  
され、9年に先行区間が完成

接種の啓発・強化を。

**答** 予防接種の義務を  
周知

加藤市民環境部長 本市に  
おける飼育頭数と登録頭数  
の乖離は把握できないが、  
注射率は80・1%で、全国  
平均の74・9%を上回って  
いる。未接種犬対策として、  
老犬等の接種猶予犬は診断  
書の提出を求め、その他の  
未接種犬は電話連絡を行っ  
ている。県が実施する研修  
会への参加呼び掛け、広報  
等による啓発に努める。





なり、被害が広がっている。今回、事業主体の鉄道運輸機構は、竹居地区の水源枯渇の原因は水源の地層付近の掘削と認め、補償を約束したが、水以外への悪影響についても住民は心配している。そもそも周辺環境に影響が出た場合の措置に関して取り交わした確認書の内容は。調整役としての市の方針を伺う。

現在掘削中のトンネル工事に起因し、河川の水量減少、もしくは枯渇した場合、農業にとつて死活問題につながる。また、高架橋建設により日照不足による一般家庭及び農作物への影響が発生した場合の補償等について伺う。

トンネル工事完成後、将来にわたり問題が発生した場合、補償責任を市・県は地元に対しどのように取っていくのか。また、トンネルから出た水は事業主体の権利下にあると聞くが、市はこの水の受け入れをどう考えているのか伺う。

岩澤重信建設部長 トンネル工事に起因した御坂町

竹居地区の水源枯渇に対して、緊急的な飲料水、生活用水の確保はなされているが、恒久的対策のため、現在、事業主体の鉄道運輸機構と請負業者が調査検討している。市としても、地元の立場に立った対策が講じられるよう、事業主体との調整を行っている。

確認書の内容は、工事に伴い、水資源、水質、日照、大気、騒音、振動等、沿線の周辺環境に影響が懸念される場合の事前調査、応急・恒久対策等、事業主体が講ずべき措置に関し、必要事項を定めている。確認書に基づき水資源や影響を受けるおそれのある家屋の調査等が行われ、今後は農作物への影響調査も、県の協力を得て継続的に実施する予定。水源枯渇への対応も明記してある。工事の本格化に伴い、協定項目に明記されていない予想できなかった事態が発生した場合についても、住民と協議し適切な措置を講じると定めてある。これからも必要に応じて、地区説明会の開催、現状把握など、

事業主体と協議を重ね適切な対応を行う。

一部河川で流水が枯渇したことは確認している。今後トンネル掘削がさらに進むにつれ、河川の水源に同じ現象がでることも考えられる。事業主体は事の重要性を認識し、事前の水源確保のため、井戸の掘削やメンテナンスを必要としない恒久水源の確保、坑口から出る湧水の活用等を検討している。日陰による建物・農作物への補償費算出については、世帯人員及び部屋数を考慮し、暖房、照明及び乾燥についての増加費用を負担額として計算し、個別に契約を結び補償する。農作物生産に係る減収等は、生育状況や品質、収量、減収状況等を3年間調査して算定し、金銭補償すると事業主体から説明を受けている。

リニア工事完成後損害が

発生した場合、確認書のなかで市と事業主体とで適切な措置を講じるとしており、関係者と協議していくと言っている。トンネル坑口から

の湧水の利用については、

トンネル掘削により減水、枯渇等の影響がある場合、水量確保のために利用した後さらに余剰水がある場合に

については、地区関係者や学識経験者等と協議会を組織し、早い段階から有効利用を図っていきたい。

問

新政権発足による

本市への影響は

答

「地域主権」に期待する



大久保俊雄議員  
(笛吹クラブ)

大久保俊雄議員 新政権が発足し、予算の無駄遣いを洗い出す事業仕分けでは、各省庁にとつて大変厳しい判定が相次ぎ、政府は結果を予算案に反映させる考えだ。私も地方自治体への影響を注視する必要がある。

行政刷新会議による事業仕分けが、市の事業と予算編成に与える影響は。

地方分権改革委員会の最終勧告で、国と地方の役割についてのビジョンが示された。市長の見解は。

全国一律の基準で、国が自治体の仕事を縛る「義務付け・枠付け」の見直しが見込まれた。市の取り組みは、本市における事業仕分け、行政評価、事務事業評価の取り組みは。

萩野正直市長 国からの詳細な情報は一切入っておらず、マスコミ等からの情報を得るほかはないが、活気にあふれた地域社会づくり、地方の自主財源を増やす考え方には大いに賛同する。

本市の施策への影響として、地方交付税交付金の見直し、消防防災施設整備費補助金の移管、農道整備事業の廃止、道路整備事業の見直し、まちづくり交付金および水道事業の移管等が想定される。



住民に身近なことは、地方にできるだけ委ねるとの勧告に基づく国の取り組みに大いに期待している。中でも地方交付税については地方税に次ぐ重要な財源であり、その改革は急務だと考えている。

全国市長会を通じて実現への働きかけを行うと共に自己決定と自己責任が十分に果たせる組織づくりと、職員の資質向上に努める。

行政経営システムの構築を進めている。まず、優先すべき事業と予算を確定し、それ以外の予算を節約するビルド・アンド・スクラップ方式により予算編成を行う。

**問** 青少年の相手を思いやる教育の具体策は  
(心のバリアフリー)

教育の具体策は

大久保議員 24年度に、中学校で武道が必修となる。指導者、設備の準備は。バリアフリー教育の取り組みは。義務教育における税についての教育は。

**答** 共生の心を育む

山田武人教育長 武道場の

ない春日居中学校は、22年度の完成を予定。改訂される指導要領を吟味し、指導の工夫、施設面での条件整備を図る。

総合学習や道徳の時間だ

.....

**問** 介護保険「受領委任払い制度」の導入は

**答** 22年度内導入を目指す



川村恵子議員  
(公明党)

のやさしさで実現できる事業だ。最初から1割だけを支払う、受領委任払い制度を設けている自治体が県内にもある。本市にも導入が望まれるが、所見を伺う。

中川啓次保健福祉部長 本

市20年度実績で、福祉用具購入が214件、549万円8千円、1件平均2万7千円。住宅改修が139件1、275万6千円、1件平均9万2千円。これまで窓口では受領委任払いの要望を受けてはいない。制度を導入した甲府市の利用率

けでなく、学校教育全体を通じて、共に生きていく心を育むように努めている。

税務署職員が講師となつた税金教室を、今年度、9校で予定している。峡東地区租税教育推進協議会等の事業を活用し、啓発に努めたい。

.....

**問** ヒブワクチン 助成制度の導入を

川村議員 インフルエンザ

菌B型、ヒブは乳幼児に重い髄膜炎を発症させ、死亡率は5%。早期診断が困難で、治療にも限界がある。予防の重要性が高く、ワクチン接種が効果的だ。現在は任

.....

**問** 生活保護相談者には迅速・適正な対応を

迅速・適正な対応を

**答** 的確な判断に努める



亀山和子議員  
(日本共産党)

を求めている。2008年3月の生活保護関係全国係長会議の通知で、申請者の手持ち金が少ない場合等への迅速な保護決定を要請している。市の現状を改めるべきだ。

車や家屋の保有を一律に認めないような対応はすべきでない。

11月10日、生活保護申請

は1・5%程度。他自治体の動向や利用者の要望等を参考に多方面から検討し、22年度内導入を目指したい。

意のため、1回7千円から8千円、4回接種が必要で高額負担になる。市の助成が望まれる。

**答** 国の動向を注視

中川保健福祉部長 ヒブワ

クチンは20年12月から発売され、国の定期予防接種にも指定されていない。ワクチンが品薄状態であることもあって、県内で助成の例はない。今後、国の動向を注視していく。

を却下された市内の男性が自殺を図った。却下は適切な判断であったか、検証すべきだ。

中川保健福祉部長 電算

システムによる進行管理、特定のケースワーカーへの業務集中を避けるなど、迅速に対応するよう努力する。手持ち金が少ない申請者には必要に応じた法外援護費での対応をしている。

20年度以降の実施要領の改正で、車の所有が認められる範囲が拡大した。家屋についても有効活用を前提に保護が可能な場合があり、状況に応じた対応を随時行っている。

本年度、要件を充たしていないとの判断から、3件の生活保護申請を却下した。今後も、生活状況を的確に把握しながら支援体制を確立したい。

## 問 学校給食について

亀山議員 石和中学校の給食調理場の新・改築の予定は。

給食調理職員の正職員化を。一宮共同調理場は市の直営

にすべきだ。

## 答 安全な給食の提供を目指す

早川哲夫教育次長 教室

不足の解消も考慮しながら、給食施設の整備が必要と考えている。

## 問 大型施設整備構想と

今後の取り組みは

## 答 新市基盤確立に向け

特例期間内に整備



中村正彦議員  
(正鶴会)

中村正彦議員 大型施設整備構想は、市の将来を大きく左右する事業で、住みよい笛吹市の骨格を築く礎となる事業だ。先般開催された市民ミーティングでは、建設的、否定的意見とも出されたと聞くが、以下のことについて伺う。

市民ミーティングでの意見・

限られた職員定数及び財政状況の中で、正職員化は難しい。

一宮共同調理場は、23年の夏休み明けからの稼働を目標にしている。運営方法については、今後、民間委託も含め検討する。

反応はいかがか。

合併特例債事業として、6つの整備構想は財政が許す限り取り組むべきだが、将来財政状況と、今後の構想の具体的な取り組みは。特に、多目的ホールについて市が実施した調査結果は、荻野市長 芦川町を除いた6町で、延べ400人の参加をいただき開催できた。6事業それぞれにご意見をいただき、各地域に係る計画には、建設に前向きな意見をいただいたと感じている。また、6事業の費

用は多額で、市の財政状況を見据え、維持・管理費等将来的な負担の増大を心配するご意見もいただいた。

今後、財政規模の縮小に伴い、一般財源の確保がさらに厳しくなることが予測されるが、基金の活用や更なる行財政改革の推進の中で、歳入歳出の調整を行いながら、効果的・効率的な行政経営に取り組んでいく。特例債活用可能期間後の施設整備は財政上困難と考えており、新市基盤確立のためにも、特例期間内に整備をしたい。

石和温泉駅・周辺整備事業は、JRコンサルに基本調査を依頼し、石和温泉駅周辺まちづくり検討委員会を発足した。仮称・北口駅広場は、地元説明会を開催し、22年度に詳細設計を行う。バイオマスセンター建設事業は、事業化計画の策定に着手しており、26年度のパイオマスセンター完成を目指す。砂原橋の架け替え・道路整備事業は、22年度実施設計、23年度工事開始に向け準備を進める。ふるさ

と公園周辺整備事業は、25年度中の完成を目指し、22年度から実施設計・遺跡調査・住民説明会の予定。サッカー場建設はクリアすべき課題が多く、事業計画等は具体化されていない。多目的ホール建設への取組みと、調査結果については、複数の団体から要望書をいただいているが、市民ニーズの把握のため、11月に15歳以上、無作為抽出の1,000人を対象に、市民アンケートを実施した。12月1日時点の回答率は約41%、速報値では、「必要・どちらかといえば必要」が40%、「必要ない・どちらかといえば必要ない」が60%、必要としている施設は「文化活動やスポーツなどが行える複合施設」が最多、次いで「演劇や式典等が行えるステーションホール」である。併せて「施設利用者聞き取り調査」を実施している。現時点の集計は、「多目的施設等を希望する」が約60%、「必要ない」が約40%。今後は建設検討委員会を設置し、総合的に検討いただく。





## 山梨県消防広域化 推進計画は

中村議員 消防体制の整備・強化を図るには、市町村の消防広域化の推進が必要だ。笛吹市でも、消防団員不足による消防活動の負担増や救急事案の多様化など、ますます常備消防の重要性が叫ばれている。常備消防の広域化の進捗状況を伺う。

今後の取り組みは。

## 答 協議会であるべき 消防体制を探る

金井一貴消防長 県内28市町村は、消防行政を多角的な見地から調査・分析し、あるべき消防体制を探ることを前提として、21年10月30日に山梨県消防広域化推進協議会を立ち上げた。

協議会の中で、広域消防組織の形態、市町村間の費用負担、広域化による消防財産や消防債務の取り扱いなど、さまざまな課題が提示されるが、現状の市の消防行政と照らし、市民にとって最善の選択肢を判断していく。

## 問 バイオマスセンター建設 予定地（八千蔵・高家地区）の土地活用は

## 答 広域的活用で事業推進する



風間好美議員  
（正正会）

風間好美議員 第1回のごみ処理問題懇話会（平成13年）が発足して8年、その間、中間処理場の建設予定地はさまざま候補地が挙がった。

御坂町八千蔵・八代町高家地区、さらに八代町増田地区が候補地として参加、また中道町の米倉山エコパーク構想を県が発表した。16年に改めて八千蔵・高家地区に決定されたが、18年に境川町寺尾地区に変更された。八千蔵・高家地区については現在まで本市および地元4区の対策協議会が、バイオマスタウン構想の実現を目指し進行してきたが、4市の首長会議では意見が合わず、

白紙に戻った。

八千蔵・高家地区の土地活用が白紙に戻ったが、今後の計画は。

境川町寺尾地区のごみ処理場と歩道を合わせるというが、寺尾地区内の進捗状況と今後のスケジュールは、地元地権者への説明と今後の対策は。

本市としての考えは。

池田経営政策部長 甲府・山梨・甲州市の首長と21年11月の協議会において、4市で共通利用できる施設を整備することを確認し、広域的な利活用を目指していくこととした。県に対しても、広域的利用などについての要望と、協力を求めながら活用方法の検討を進めていく。

「甲府・峡東地域ごみ処理広域化計画」などを策定し、地質調査・地下水調査・埋蔵文化財の試掘調査などを

実施、「環境影響調査」も実施している。今後は、具体的な建設・運営事業の基礎となる見積発注仕様書の作成や、事業手法や都市計画の決定にむけた案の作成業務等が予定され、27年度の供用開始を目指している。

八千蔵・高家地域開発検討委員会で、4市の協議会の状況などを説明している。他用途の検討に入って3年半以上経過しており、地権者・地域に対し説明会の実施を検討している。

土地の利用方法は広域的な活用を目指しており、上寺尾地区の新ごみ処理施設建設と並行し土地取得することを念頭に事業を推進する。

## 問 芦川農産物直売所 集客と道路対策は

風間議員 新道峠までの大型バス通行ができる道路拡幅および駐車場整備は。

上芦川から新道峠までの市道・林道に、観光目的の施策は。

古民家を利用した散策コースの考えは。

涼しい芦川地域全体で作

れる特産品の開発指導は。トンネル開通に伴う交通対策は。

## 答 芦川を積極的にPR 案内標識も増設

保坂産業観光部長 すず

らんりの里まつりや、ハイキング時期には多数の観光客で賑わっている。大型バス通行、駐車場整備は、景観や環境を考慮して検討していく。

新道峠からの眺望は素晴らしい。正面に富士山、眼下に河口湖を望める。県内に積極的にPRし、芦川町を全国に発信して観光に結び付けたい。

整備中の農産物直売所は芦川地域の素晴らしさを知っていたら、拠点施設と考える。兜づくりの古民家は159軒に及び、貴重な景観だ。散策コースの設定や、花で彩る地域づくりに取り組みたい。

そばや山菜、しいたけの生産拡大の推進、ほうれん草のブランド化に助成している。今後も地域特性を生かした特産品開発に力を注

いしていきたい。

若彦トンネルを含む道路部分は県が管理し、融雪剤の散布や除雪等を行っている。市管理の道路も除雪を含む

機能管理安全対策を行っている。道路案内標識は1カ所が設置済みで、県であと2基増設の予定だ。

## 問 バイオマスの郷づくりの第一歩として 生ごみ処理対策事業の推進は

## 答 地域ごとに普及啓発の 市民学習会を進め バイオマスタウン事業化を推進



北嶋恒男議員  
(正鶴会)

北嶋恒男議員 生活環境日本一を目指す笛吹市にとって循環型社会の構築に向けたバイオマスセンター構想は大変重要な施策だ。しかし、特定地域だけに負担をかける一極集中型の大型構想は、今後とも難題が予想され時間がかかる。地域ぐるみで取り組めるEM菌などを使つた、大型処理機型の生ごみ

堆肥原料化事業等の推進を急ぐべきだ。当面、各町単位に1カ所ずつ設置できないか。また、市民への普及・啓発運動も不可欠で、バイオマスタウン構想策定検討委員会の積極的な活動や、意識高揚のため各支所単位でワーキンググループをつくり研修していく考えはないか。

保坂産業観光部長 平成19年に笛吹市バイオマスタウン構想を策定。目指す将来像を、「農と食と微生物を活かした地域ぐるみで取り組むバイオマスの郷づくり」

とし、木質系バイオマスのチップ化、生ごみの堆肥原料化、廃食油のBDF化の3つを柱として事業を進めている。学習会や地区説明会なども実施、雑木のチップ化、剪定枝の堆肥化や生ごみ処理機未設置の7小中学校に処理機を設置し、給食残渣の堆肥化も進めている。地域での取り組みも成果を上げている。

バイオマスタウン構想を具現化し、センターの建設に向け需要量等の調査、及び施設整備や実施体制の検討を行う「バイオマスタウン事業化計画」の策定にも取り組む。建設の内容・規模・場所は、事業化計画の中で利便性や効率性など総合的に検討する。また、地域ごとに普及・啓発の市民学習会や説明会など開催し、環境保全・循環型社会の構築に向け、社会的機運の醸成も図っていきたい。

## 問 「あいさつ、聞き方、 言葉遣い」運動の 取り組みは

北嶋議員 笛吹市学校教育

ビジョンには「未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長し、幸せな社会をつくり暮らししていくことができるように、家庭、学校、地域、行政が一体となつて取り組んでいこう」という願いが込められている。きちんとしたあいさつや返事、丁寧な言葉遣いの習慣は頭脳を明晰にし、思考力を育て、豊かな心、思いやりの心を育てる。現在、学校現場ではどのような指導方針で実践されているのか。また、この運動を市民全体に広げるため、「言葉や聞き方のマナー」としての講演会やシンポジウムなど今後の予定はあるか伺う。

## 答 あらゆる機会を 通してPR展開し 地域で盛り上げたい

早川教育次長 教育ビジョン具現化として、「あいさつ 聞き方 言葉遣い」の基本的で大切な三つのことを、小中学校の区分を超え、すべての学校に呼びかけている。教育委員会の情報発信に連動し、各校がキーワードを

設け、学校独自の取り組みを進めたり、共通した方法でも取り組んでいる。教育講演会の開催や、学校以外でも展開できるポスターやクリアホルダーを作成、教育委員会職員もこの運動を呼びかけるTシャツを作成し行事などで着用している。また、ポスター掲示や情報発信だけに終わらず、学校・地域に協力をいただき、あらゆる機会を通してPRを展開し、地域での盛り上げりにつなげていきたい。





## 問 高齢者施策を問う

### 答 介護予防事業や利用者サポートなど充実



新田治江議員  
(正正会)

新田治江議員 高齢者が地域で最後まで家に元気でいられることは誰もの願いだが、地域で元気にいられるための施策を問う。

平均寿命女性86歳、男性79歳という長寿社会。老人クラブの休部が多いことは流れに逆行している。現状と対策、原因、今後どのように考えていくのか。

元氣な健康高齢者を維持していく対策。また、子どもから高齢者までの総合型地域スポーツクラブでのかわり方、地域トレーニンググールの使用状況は。

中川保健福祉部長 市の65歳以上の高齢者人口は、

21年3月末現在で16、645人、高齢化率は23・3%、そのうち50・6%にあたる8、423人が75歳以上の高齢者で占めている。旧町村単位に7つの地区老人クラブ連合会、行政単位ごとに97の老人クラブがあり、会員数は4、596人となっている。合併後の5年間で6クラブ、353人の減少となっており、老人クラブ会員の高齢化や新規加入の少ないこと、役職者の後任が確保できなく、団体登録できなくなっていること等が大きな要因と思われる。運営補助金を、国基準に市単独補助を上乗せして交付しているが、市社会福祉協議会とも協議しながら、加入者の増加に向けた手立てを検討し、活動の支援をしていきたい。「やってみるじゃん介護

予防事業」は、年間1、365回、延べ参加者数は1万6千人ほどあり、好評をいただいている。きらめきテレビでは同年代のシルバースポーツ指導員による「介護予防体操」の放映や、虚弱な高齢者の方には筋力向上の「貯筋塾」や低栄養改善の「かまど塾」など、さらに、市単独事業の「温泉活用健康づくり」など実施している。

また、「わいわいスポーツクラブ」では、子どもを中心に親子のふれあいを通じて人づくりを目標に、正式な総合型地域スポーツクラブとして登録、法人化を目指している。高齢者の方々にも積極的に参加いただき、貴重な知識や経験を子どもたちに教えていただきたい。トレーニンググールの使用状況は、「いちのみや桃の里スポーツ公園体育館」「若彦路ふれあいスポーツ館体育館」「境川スポーツセンター体育館」の3カ所があり、「境川スポーツセンター体育館」以外は、昨年度より利用人数が増加している。今後、

インスタクターによる講習会の開催等により利用者のサポートを行い、施設利用者の増加につなげていきたい。

### 問 笛吹市の観光振興策は

新田議員 岐阜県中津川市の馬籠、妻籠宿、高山市の歴史的町並み再生事業を視察した。両市とも大勢の観光客で賑わっていたが、市の主幹産業である観光振興策を問う。

合併7町の地域特性を、バランスよく生かせる地域振興予算を配分できないか。地域資源の発掘に、地域の良さを知っている地域の人々が散策マップをつくる考えは。

歴史的風致を感じる道の発見、散策ルートづくりは石和温泉駅に降りて、買物をしたくなるような楽しい町並みの工夫は。

### 答 散策ルートマップのPRや、団体・企業との連携強化

保坂産業観光部長 各観

光協会に補助を行っていて、補助額は各観光協会の実績報告書を確認し、事業計画を精査した上で決定しており、地域特性が生かされた配分となっていると考える。

春日居町の「菊の散歩道」、芦川町の有志が作成した「街中散策マップ」、御坂町の「みさか花見散策コース」など、地域ならではの散策マップが既にあり、市のホームページやエージェンツ用資料としてPRしている。

市内の文化財は「笛吹市文化財ガイドブック」に整理されており、文化財課で複数のルート選定とそれらをまとめたルートマップを作成中。

駅前案内所で荷物預かりサービスを実施、ロッカーの新設や駅周辺の散策マップ配布など、利便性の向上に努めている。また、「観光振興ビジョン」の策定を進め、笛吹市観光物産連盟も法人化した。連盟を中心に組織強化や活動の推進を図り、行政・関係団体・企業との連携強化にも取り組んでいる。

## 問 特別支援教育の推進を

**答** 一人ひとりの適性に配慮した  
指導・連携に当たる



**議員**  
(無会派)

議員 国は中央教育審議会の答申を受け、障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導を行う特別支援教育へ転換を図っている。法改正の目的は、障がいのある幼児、児童生徒が持つる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服し、自立と社会参加を果たす支援をするものだ。市も特別支援教育の理念と基本的な考え方に沿い、その定着・発展を図るべきだが、市の考えは。

また、聴覚障害は文字をコミュニケーション手段とし、会話などの情報入手手段とする聴覚障害であり、文字でのコミュニケーション手段として筆談、電光表示板、字幕やパソコン要約筆記などがある。保護者、地域、ボランティアの方々と協力し、聴覚障害の協力に取り組むことが必要だが、市の考えを伺う。

**山田教育長** 特別支援教育は、平成19年4月から学校教育法に位置づけられた。市内小中学校に配置されている特別支援学級は、知的障害学級や自閉症・情緒障害学級など35学級が設置され、97人の児童・生徒が学習している。特別支援学級は県が必要と認め設置されており、県費教員も配置されている。文部科学省の推計では、約6%の発達障がいや軽度発達障がいの子どもたちが普通学級に在籍し、学校生活を送っているが、一人ひとりの成長を目指し、行き届いた指導のために市独自に学習支援講師と講師35人を配置し、多い学校には4人の人的措置をとっている。

また、「ひまわり教育相談室」を中核にアドバイスを行い、医療を始めとする関係機関との連絡調整、連携も図っている。

障がいを持った一人ひとりに、どれだけ手厚い環境が用意できるかが課題だが、発達障がいと認められる児童・生徒の増加に対応するため市は独自に「ひまわり教育相談室」業務の充実、特別支援教育研修会の実施等、充実を目指している。なお、聴覚障がいを持った生徒の情報保障手段として、パソコンによる要約筆記のボランティアが入っている学校もあり、支援内容や体制について、今後協議していきたい。

今後もノーマライゼーションの精神を根底に、障がいをもった一人ひとりの適性に配慮し、指導・連携に当たっていききたいと考えている。

## 問 行政経営における 情報公開と市民参加は

**答** 情報公開先進都市の  
確立を目指す



**志村直毅議員**  
(笛政クラブ)

志村直毅議員 市は行政経営に当たり、意欲的に行政改革を進め、情報公開に取り組んでいる。十分な情報公開は行政経営にも、市民に市政の今を伝え、市民が課題や問題を知り、考え判断するためにも必要不可欠だ。県内自治体をリードする情報公開最先進市として、協働のパートナー・公共サービスの担い手である市民の参加促進も必要だ。

総合計画に基づく政策・施策を実現していくための予算編成方針案の検討過程の公開と市民参加は、予算編成過程の公開と市民意見の受付・公表は。

経営会議の傍聴による公開は。

幹部職員による情報発信を、パブリックコメントにかける基準の作成・公開は。よりレベルの高い情報公開と市民参加を図る考えは。

**池田経営政策部長** 市の取り組みとして、本年度から予算編成方針をホームページ上で公開していくことを制度化した。今後は、事業評価結果や施策評価結果を公表していく予定で、行政経営システム構築後は、次年度経営方針の協議結果を公表するなど、予算編成過程の一部公開を進めていきたい。市民意見の受付等は、将来の課題としたい。

経営会議の運営基本方針を定めた「笛吹市庁議設置運営規程」により、会議録を市のホームページに掲載し、市民に公開している。





各地域で行うタウンミーティングで、部局長が各案件の経緯・内容の説明を行い、市政に対する質問や意見など、市民の生の声を市政経営の参考にしている。「市長への手紙」「お問い合わせメール」での問合せなどには、市政クイックアンサー制度で7日以内に最新情報をお答えしている。

既に政策立案過程に広く市民の意見・提案を反映することを目的に、「笛吹市パブリックコメント制度実施要領」を設けている。公表方法は素案などを閲覧に供し、実施結果も含めて市のホームページに掲載するほか、広報誌等で市民に周知している。今後も開かれた行政の実現に向け、情報公開と行政経営の市民参画を図り、効果的な情報発信の検討と、情報公開先進都市の確立を目指していきたい。



## 公募債の起債による財源確保策は

志村議員 2002年に群馬県が初めて発行したミニ公募債は、住民参加型の市

場公募地方債として全国各地の自治体で発行が試みられてきた。成否や評価もさまざまだが、住民の社会貢献意識の高まりによる購入への期待、必要な地域インフラ整備などの目的を明確にした発行は財源確保の方策となる。市が実施する考えは。



## 公募債の発行計画は持っていない

池田経営政策部長 総務省資料では、21年度は全国で97団体が約2、500億円を発行する予定で、本県でも県や都留市が発行している。住民公募債のメリットは、行政参加意識の高揚、施策のPR、市場公募化のノウハウの習得などが挙げられ、購入者にとってはペイオフ対策としても有効な手段だが、市は2つの理由から公募債の発行計画は持っていない。1点目は、現在まで全て政府資金・金融機関から証書借入方式で地方債の発行を行っており、公募債方式は事務面・経費面で負担が大きく、応募が募集総額に

満たない場合は引受手数料も支払う必要が生じる。

2点目は、市は合併特例債を活用した大型事業等の市内インフラ整備を積極的に計画しており、財政経営に影響が少ないよう長期にわたる資金返済が望ましいことから、公募債での資金調達手法は適していないと考えている。しかし、地元金融機関から資金調達できない場合に備え、住民参加型公募債の状況把握と、調査研究は続けていきたい。



市民の声

## 一般質問

## 茨城県稲敷市議会が

## 視察研修で来市

平成21年11月6日、茨城県稲敷市議会の議会だより編集委員・事務局9名が、視察研修のため笛吹市議会を訪れました。

上野議長、松澤副議長をはじめ、議会広報編集委員もこの研修に同席し、議会だより発行についての意見・情報交換を行いました。



茨城県稲敷市議会だより編集委員会視察研修

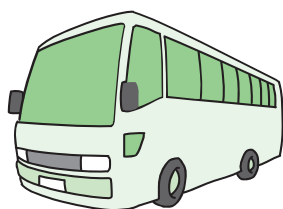


研修終了後、両市編集委員会による記念撮影

## 総務 常任委員会

12月10日、11日の2日間  
委員会を開催、付託された  
21年度一般会計補正予算、  
普通財産の譲与、動産の取  
得2件、組合規約の変更の  
計5件を審査し、いずれも  
賛成全員で原案のとおり可  
決すべきものと決した。お  
もな質疑答弁は次のとおり  
総務部所管

**Q** 地域コミュニティ事業  
の公民館建て替え補助につ  
いて、市からの補助金額は  
一律500万円の補助なのか、  
それとも上限額なのか。  
**A** 新築・全面改築の場合、  
事業費の補助金を除いた額



の2分の1、または上限額  
が500万円。対象経費は  
建築のみで、土地代や設計  
料は含まれない。  
市民環境部所管

**Q** 防犯灯維持管理経費は  
合併前旧町村の負担基準と、  
地区負担分の不均衡を是正し、  
統一基準を定めるとしてい  
るが、進捗状況は。  
**A** 該当区長会で説明し、  
理解を得ていきたい。  
経営政策部所管

**Q** デマンドバス運行の調査・  
検討は進んでいるか。  
**A** 市営バス実証運行路線  
沿線に住む市民の意向調査  
を行い、その資料を基に地  
域公共交通会議で検討する。

## 教育 厚生 常任委員会

12月10日、11日の2日間  
委員会を開催。付託された  
21年度一般会計補正予算、  
特別会計補正予算4件、条例  
の部改正5件、指定管理者の  
指定6件、広域連合規約の変  
更1件の計17件を審査し、10  
件を賛成全員、7件を賛成  
多数で、原案のとおり可決  
すべきものと決した。  
なお、公の施設にかかる  
指定管理者の指定については  
反対討論があった。おもな  
質疑答弁は次のとおり。  
保健福祉部所管

**Q** はなぶさふれあい児童館  
御坂児童センターの指定管  
理料が、直営時より上がつ  
た理由は。  
**A** 国のガイドラインに沿い、  
人員の配置・開設日の追加  
で人件費が増え、指定管理  
料が上がった。  
**Q** 地域密着型介護サービ  
ス費の動向は。  
**A** 20年度より利用者が増え、



山梨県峡東浄化センター視察（石和町東油川地内）

1人22万円の利用料がかか  
るため給付費が増加。施設  
入所の要望に因應するため、  
地域密着型グループホーム  
を募集・検討している。  
市民環境部所管

**Q** 石和町唐柏地区のミッ  
クス紙・その他プラ排出モ  
デル事業の予算は。  
**A** 補助金の予算付けはし  
ていないが、排出量が増え、  
22年度以降に収集個所の増  
設を行いたい。  
教育委員会所管

**Q** 石和北小の汚水浄化槽  
の漏水対応は。  
**A** 今回調査・設計委託料  
を補正。工事は校庭全域が  
対象のため安全を期し、22  
年の夏休み中に下水道接続  
工事を行う。  
（意見）  
**Q** 公共施設なので前倒しで  
早期の工事を求める。  
**A** 青楓美術館の閉館につ  
いては、見直しや民間によ  
る運営方法の検討を求めるが、  
運営協議会で閉館方針  
の理解を求め、1年かけて  
運営方法等を協議していく。





## 建設経済 常任委員会

12月10日、11日の2日間  
委員会を開催。付託された  
21年度一般会計補正予算、  
条例の制定1件、条例の一  
部改正1件、特別会計補正  
予算3件、事業会計補正予  
算1件、指定管理者の指定  
3件、市道認定1件の計11  
件を審査し、いずれも賛成  
全員で、原案のとおり可決  
すべきものと決した。おも  
な質疑答弁は次のとおり。

産業観光部所管

**Q** 芦川農産物直売所の設  
置に伴い、生産者は芦川地  
区に限定するのか。

**A** 農家戸数・品目・出荷  
時期により品薄もあり得る。



芦川農産物直売所建設工事視察

他の直売所と持ち込みルー  
ルをつくり、農協とも協議  
する。売り上げ目標は年間  
4〜5千万円、直売所の愛称・  
案内看板設置や、市・芦川  
の魅力情報発信の具体策も  
検討する。

建設部所管

**Q** リニアトンネル掘削工  
事で、水源の枯渇が住民に  
不便をかけている。鉄道運  
輸機構との協議は。また、  
境川町地区の明かり区間工

事への対策は。  
**A** 今後も河川や水源の枯  
渇が予想されるため、事前  
対策を強く申し入れ、書面  
も取り交わした。

境川町地区工事沿線1キ  
ロメートル以内の井戸全て  
を調査し、異常発生時は早  
急な対応をする確認書を交  
わしている。代替水源利活  
用後の余剰水の有効活用を  
協議会を立ち上げ検討する。  
**Q** 大型建設プロジェクト  
事業の優先順位は。

**A** 補助金や条件整備を図り、  
順次事業を推進する。

公営企業部所管

**Q** 浄水場計画は御坂町地  
内に建設と聞くが、浄水場  
の規模等は。

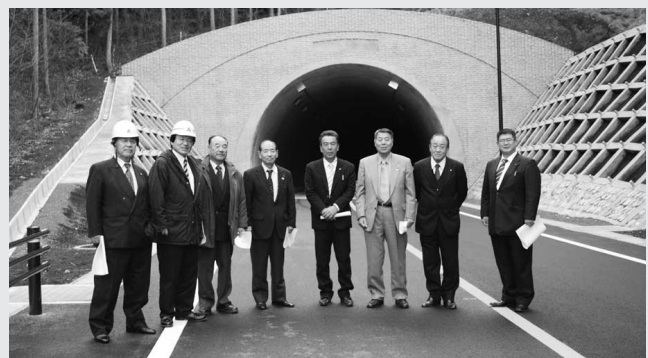
**A** 最大8、090トン、受  
水可能地区は御坂・石和・  
一宮を予定し、現在建設中  
の境川浄水場は境川・八代  
を予定。

## 視 察 研 修

平成21年12月10日、建設経済常任委  
員会では22年3月27日に供用開始となる  
若彦トンネルと、それに合わせてオー  
プン予定の芦川農産物直売所建設現場  
の視察を行いました。

若彦トンネルは、笛吹市芦川町と富  
士河口湖町大石地区を結ぶ全長2、615  
mのトンネルで、現在トンネル内設備  
工事とトンネル接続道路工事が行われ  
ています。

芦川農産物直売所は、芦川地区の特  
産品や加工品を中心に販売する予定で、  
市が設置する直売所としては4カ所目  
となります。



芦川町側トンネル入口



富士河口湖町側トンネル入口

# 市民リレートーク

～あなたの声を市議会へ～



## 少子化に歯止めを かける社会を



石和町・無職  
中沢 賢治

洪川の川辺を所用あつての通りすがりに子どもたちの大きな声が文字通りワイワイ・ガヤガヤに思わず立ち止まる。

子どもたちが休み時間に精いっぱいすべを発売して楽しんでいる姿が。そこには上下関係も世にいう格差など何もない。あ

るの、お互いがお互いを認め合い、理解し合い、協力し合っている姿、さらには子どもたちが彼らなりにルールをつくり、お互いがきちつと守って行動している。

難しい形容詞や敬語はいらない。心から相手を尊重し合って自己表現をしている。帰り道、ふと「背負った子に浅瀬を教わる」のこたわぎを思い出した。この子たちの将来のために、大人の私たちは何を

あけるべきなのか、何ができるのか、もう一度真剣に考えてみる。

我が国の人口構成をみるにつけ、少子化にしっかりと歯止めをかけ、若さにあふれ、活気ある社会にしていきたい。

## 故郷は優しい世界であってほしい



石和町・介護福祉士  
三枝 ちはる

西暦2010年がスタートしました。子どものころ2010年には車が空を飛び、気軽に宇宙旅行に行けると信じていた私はいま介護福祉士として働き、3人の子の母となっています。

10年前、介護保険制度が導入され、義母の介護を通して利用する側と、仕事の中で利用される側の両方の立場を経験しました。3人の子育てでは、育児手当、医療費制度、全県1区に移行した県立高校入試制度、教育費問題など、笛吹市に生まれ育った私は家族・職場・地域の人たちや、行政に助けられていると感謝しつつも、自分たちに関わるそうした事柄の行政制度に境界や疑問、不安を抱かざるを得ません。

娘2人と参加している犬猫の里親探しのボランティアも、5年目に入ります。捨てられ殺処分される犬猫たちは後をたたず、団体・個人のボランティアがどれほど頑張っても、殺処分がゼロに近づくためにはやはり行政の力が必要です。

厳冬の中、笛吹市を望む山々は、いにしえの昔から変わることなく凛として聳えています。たとえ映画のような近未来が来なくとも、この美しい故郷が高齢者、子ども共に生きる動物たちにとって、優しい世界であることを願ってやみません。



門前の雲をふむべく 年新た 蛇笏

新年おめでとございます

2009年は政権交代により政策展開による事業仕分け、一切の無駄の排除、自治体としても市民一人ひとりに主体性を望み、市民協働・地域力の強化が求められました。

市の大型施設整備構想、都市計画税についても広く市民の皆さまの声を大切に議会として進めています。緊急事態となっている医療費総額50億円突破は、皆さま一人ひとりのご協力をいただき、国保財政再建に向かわねばならない状況です。

明るいニュースとして、御坂町出身バンド「レミオロメン」の紅白出場は、市民に勇気と感動を与えていただき、笛吹市のPRが全国発信できたことでしょう。

また、11月に行われた笛吹市小学生中学生俳句会表彰式終了後、俳句の誕生した風土を肌で感じていただいたことは、訪れた人にとつて生涯、笛吹市を忘れることにはない思い出となったことと思います。桃源郷あり、温泉あり、文化あり、この風土を生かす戦略として、地域力で笛吹市を築き上げていくことが求められています。

2010年は、市民が健康で活気ある市を目指して、市民協働で進みましょう。

(新田治江)



FUEFUKI CITY

笛吹市議会だより No.21

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917  
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101  
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

議会を傍聴  
しませんか

3月定例会は2月25日から3月18日まで八代議場で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

発行者：笛吹市議会議長 上野 稔 / 編集：笛吹市議会広報編集委員会  
委員長：大久保 俊雄 副委員長：網倉 正治  
委員：亀山 和子 新田 治江 北嶋 恒男 志村 直毅

笛吹市議会だより No.21 18